ふくい 市議会だより

No.232
令和6年2月10日発行
編集／発行
福井市議会だより編集委員会
福井市大手3丁目10番1号
TEL.0776-20-5506
FAX.0776-20-5744

11月22日　議場コンサート開催

12月臨時会　西行 茂 新市長 就任挨拶

12月臨時会　東村新一 前市長 退任挨拶

12月定例会（11月6日～11月22日）

市長提出の議案22件、報告1件を審議しました　主な議案は6～7ページ　審議結果は14ページ

陳情1件を審議しました　審議結果は14ページ

委員会審査　詳細は7～8ページ

議員21人が一般質問を行いました　詳細は9～13ページ

12月臨時会（12月26日）

市長提出の議案15件、報告4件を審議しました　主な議案は7ページ　審議結果は15ページ

議員提出議案1件を審議しました　主な議案は7ページ　審議結果は15ページ

特集記事

● 北陸新幹線開業効果最大化対策特別委員会 行政視察報告…　2ページ

● 議場コンサートを開催しました……　3ページ

● 決算特別委員会を見てきました……　4～5ページ

北陸新幹線開業効果最大化対策特別委員会 行政視察報告

日　程：令和５年12月20日（水）～21日（木）
視察先：群馬県前橋市「新設道の駅整備運営事業について（現地視察：道の駅「まえばし赤城」）」
東京都墨田区「勝海舟生誕200周年記念事業について」

北陸新幹線開業効果最大化対策特別委員会は、群馬県前橋市、東京都墨田区を視察訪問しました。

前橋市では、道の駅「まえばし赤城」を現地視察しました。令和5年3月に開駅し、事業費は約57億円で、構想から建設まで約10年の期間を要したとのことです。飲食店や鮮魚センター、物産販売店、温浴施設などを備えており、地元住民の普段使いや道路利用者の休憩場所として大いに利用されています。新たな物産販売拠点の整備を検討するに当たり、大変参考となる事業でした。

前橋市の道の駅「まえばし赤城」を現地視察

墨田区では、「勝海舟生誕200周年記念事業」と銘打ち、パネル展や勝海舟ゆかりの地を巡るイベントが行われ、ポストカードなど記念ノベルティの製作も行っていました。語り部などの担い手が高齢化しているといった課題があるものの、今後少ない予算の中でPRを行うために様々な工夫を行っていきたいとのことでした。北陸新幹線福井開業を控えた本市において、開業効果を持続的なものにするため、歴史ファンを呼び込む取組の参考となる視察となりました。

墨田区の勝海舟生誕 200 周年記念事業について視察

コラム　行政視察とは

行政視察は、市政の参考となる先進的な施策や取組を行っている自治体へ議員が赴き、その内容を調査し、今後の議会活動に役立てる目的で実施するものです。

常任委員会では、令和５年８月に行政視察を実施しました。（市議会だより231号に報告掲載）

今回、特別委員会が視察訪問した群馬県前橋市と東京都墨田区をご紹介します。

群馬県前橋市

前橋市は、群馬県の中央部よりやや南に位置する人口約33万人の県庁所在地で、福井市と同じく中核市に指定されています。日本百名山の一つである赤城山を背景に利根川や広瀬川などの緑豊かな自然に恵まれた街です。

赤城山南麓地域では養豚が盛んで、豚肉産出額は全国トップクラス。豚肉料理が有名で、名物には福井市と同じソースカツ丼もあります。

前橋市の市街地　写真提供：前橋観光コンベンション協会

東京都墨田区

墨田区は、東京スカイツリーを目当てに国内外から多くの観光客が訪れますが、昔ながらの下町情緒が残る街としても有名です。

現在の墨田区出身で幕末に活躍した勝海舟は福井藩主の松平春嶽と盟友であったことが知られており、福井市立郷土歴史博物館には、勝海舟から松平春嶽に宛てられた書簡など、親しい交友をうかがえる資料が遺されています。

勝 海舟 像

松平 春嶽 像

議場コンサートを開催しました

市民の皆様に気軽に議場へ足を運んでいただき、議会を身近に感じていただくとともに、北陸新幹線福井開業に向けた気運をさらに高めるため、令和５年11月22日に議場コンサートを開催しました。北陸新幹線や福井の四季をイメージした６曲を演奏していただきました。

演奏者「トリオ・エクラ」
ソプラノ 東　園　　ピアノ 岡　茜　　クラリネット 吉田ひろみ

市議会だより編集委員が演奏者にインタビューしました

編集委員　「トリオ・エクラ」の意味を教えてください。

演奏者　グループ名の「エクラ」は、フランス語で「輝き」という意味です。北陸新幹線「かがやき」にちなんで、語感もよく、３人で「トリオ・エクラ」という名前にしました。

編集委員　今回の曲目を選んだ理由を教えてください。

演奏者　「歌劇『椿姫』より〝乾杯の歌〟」は、お祝いの席で歌うことが多いです。あと、北陸新幹線ウェルカム！（笑）全国から多くの方に来ていただきたいという思いと、お祝いの気持ちを込めて、この曲を１曲目にしました。

「四季のメドレー」と「わたしのまち ときめきのまち」は、春、夏、秋、冬それぞれの季節に福井へ来ていただきたいということと、福井市はこんなところがいいまちですよ、という思いでこの曲を選びました。

編集委員　春、夏、秋、冬それぞれの季節に福井へ来てほしいという発想が素敵ですね。

演奏者　「冬にカニを食べに来てほしい」というだけではなくて、それぞれの季節に福井へ来てほしいですね。

編集委員　演奏を通じて、伝えたい思いを教えてください。

演奏者　今回は「輝く」がキーワードです。私たち市民が一丸となって、福井市の輝かしい未来に向かってという思いで、他の曲についても輝きをイメージしたものを選びました。私たちは、音でその思いを伝えたいと思います。

編集委員　これからの活動について教えてください。

演奏者　個人でもいろいろな活動をしていますが、今回のコンサートで「トリオ・エクラ」を結成しましたので、コンサートなどのご依頼がありましたら嬉しいです。

編集委員　議場のイメージはどうですか。

演奏者　きらきらとしていて輝かしいというのが第一印象です。

編集委員　音の響きはどうですか。

演奏者　議場の床は絨毯なので音が響かないかなと思いましたが、まったくそんなことはなく、よく響きました。天井が高いからだと思います。３人で気持ちよくアンサンブルができました。

「トリオ・エクラ」
（左）吉田さん、岡さん、東さん
「編集委員」
（右）葛野副委員長、佐野委員、高田委員

編集委員　議場で演奏した感想を教えてください。

演奏者　お客様がとても多かったですね。１曲目の後、あたたかい拍手をいただいて、一段と気持ちよく、３人で演奏させていただきました。このようなコンサートがあれば、また議場へ行こうかなと思う方が増えるのではないでしょうか。

来場者アンケートより

♪今日は大変素敵なコンサート、ありがとうございました。

♪とても良い企画でした。福井のすばらしい音楽家を知りました。

♪３人とも素晴らしく、とくにソプラノの方はブラボー。生で聞いて感激、感動しました。

♪思ったより音響がよかったです。

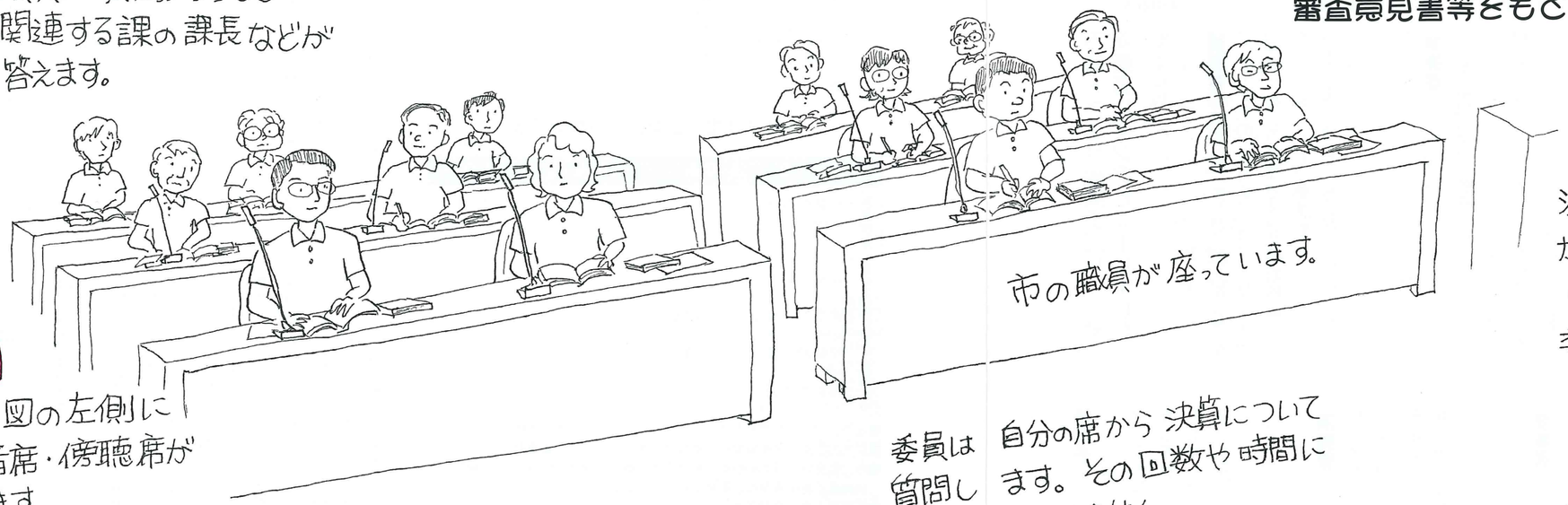
♪議場、初めて入りました。

♪開かれた市役所、市議会として、ぜひ様々な形で公開してほしいです。

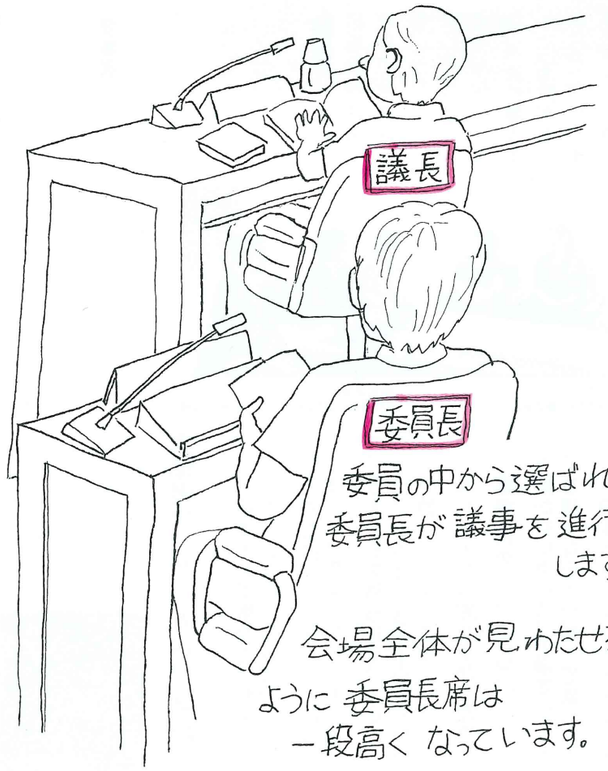
♪このようなコンサートをまた開いてください。議会と市民が近くなるといいです。

決算特別委員会を見てきました

決算特別委員会は、議会に提出された前年度の各会計決算議案の審査のために設置される委員会です。予算が適正に執行されたか、費用に見合った事業効果があったのかを中心に、決算書や監査委員審査意見書等をもとに審査を行います。



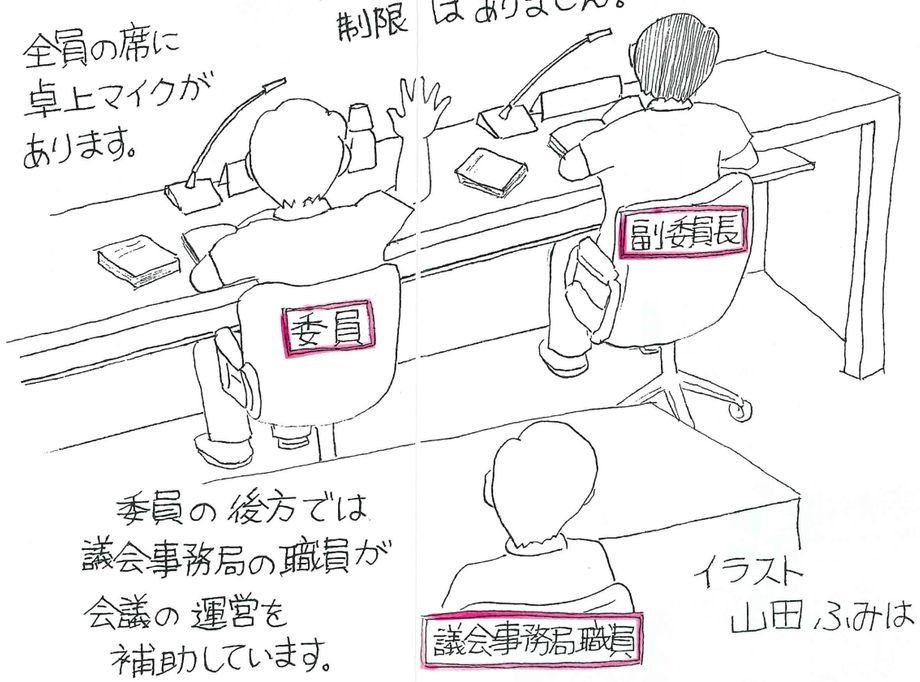
決算特別委員会は議長・副議長を加えた12人の議員が委員会に出席します。全議員が任期中1回は委員になります。



委員の中から選ばれた委員長が議事を進行します。

会場全体が見わたせるように委員長席は一段高くなっています。

委員は自分の席から決算について質問します。その回数や時間には制限はありません。



全員の席に卓上マイクがあります。

委員の後方では議会事務局の職員が会議の運営を補助しています。

イラスト 山田ふみは

委員会は市役所8階の全員協議会室で行われます。福井市の全ての会計について審査されるため、途中で関連する課の課長などが入れ替わりながら進められます。

委員の質問に対して関連する課の課長などが答えます。

この図の左側に記者席・傍聴席があります。ぜひ委員会の傍聴に来て下さい。

こちらから決算特別委員会の様子を見ることができます。

10月2日

10月3日

議員には事前に資料として「決算書」や「監査委員審査意見書」などが配付されます。委員はそれらを読み込んで委員会に出席します。

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、14～15ページに掲載しています。

12月定例会

各会計決算の認定

9月定例会において決算特別委員会に付託され、継続審査となっていた令和4年度各会計（一般・特別・企業）決算の認定等について審査するため、10月2日、3日の2日間、決算特別委員会を開催しました。

審査の結果、付託された各会計決算の認定等について、いずれも原案どおり可決及び認定しました。

なお、各会計の決算剰余金（収支の差額）は、令和5年度に繰り越すとともに、今回の補正予算において、その一部を財政調整基金やその他基金への積立て、市債の繰上げ償還などに充てています。（各会計決算は左記の表参照）

令和4年度　一般会計・特別会計決算総括表

（単位：円）

会計区分		歳入決算額	歳出決算額
一般会計		130,112,396,752	127,772,445,118
特別会計	国民健康保険	22,895,321,128	22,159,489,798
	後期高齢者医療	4,234,130,219	4,226,465,719
	介護保険	26,813,963,225	26,240,048,466
	母子父子寡婦福祉資金貸付	22,150,563	9,047,915
	競輪	22,314,744,215	21,728,163,088
	宅地造成	426,248,315	118,244,462
	中央卸売市場	878,338,674	878,128,623
	駐車場	75,466,407	73,347,093
	集落排水	742,783,171	709,007,667
	地域生活排水	147,133,583	145,228,618
合計		208,662,676,252	204,059,616,567

令和4年度　企業会計決算総括表

（単位：円）

会計	区分	収入	支出	収支
水道事業	収益的収支	5,362,372,495	4,263,457,628	1,098,914,867
	資本的収支	834,530,912	2,960,553,343	△ 2,126,022,431
簡易水道事業	収益的収支	271,820,262	268,856,297	2,963,965
	資本的収支	180,649,639	349,143,754	△ 168,494,115
下水道事業	収益的収支	10,150,251,745	8,482,361,892	1,667,889,853
	資本的収支	9,938,248,356	14,757,567,260	△ 4,819,318,904

●収益的収支：（料金収入等）－（サービスの提供に必要な経費等）
●資本的収支：（企業債等）－（建設改良費や企業債元金償還金等）
●各企業会計の資本的収支における不足額は、消費税資本的収支調整額や損益勘定留保資金などで補てんしています。
●消費税を含む金額です。

令和5年度補正予算

12月補正予算は、新幹線福井開業に向けた取組をはじめ、原油価格・物価高騰対策やその他各種施策を推進するために予算措置が必要となった事業について計上するものです。

今回の補正予算の規模は、一般会計で20億7，501万4千円、国民健康保険特別会計で3億2，432万5千円、介護保険特別会計で5億7，656万1千円、競輪特別会計で2億6，000万円、駐車場特別会計で572万円、集落排水事業会計で1，210万円を追加するもので、補正後の予算総額は、一般会計で1，350億5，634万1千円、特別会計で778億2，918万9千円、企業会計で318億862万4千円、全会計では2，446億9，415万4千円となります。

【主要事業】

Ⅰ 原油価格・物価高騰への対応に関する事業

- 障がい福祉サービス事業所への電気料等エネルギー価格高騰対策支援事業
- 介護サービス事業所等への電気料等エネルギー価格高騰対策支援事業
- 私立保育所等への電気料等エネルギー価格高騰対策支援事業
- 市施設光熱費等高騰対応

Ⅱ 新幹線開業に向けた事業

- 県都まちなか再生事業
- シェアサイクル活用促進事業
- 福井でかなえる快適ライフ応援事業
- ふくい桜まつり新幹線開業記念事業
- グリフィス記念館にぎわい創出事業

Ⅲ 各種施策を推進するための取組

- 電子入札システム管理事業
- 生活保護扶助費等
- 障がい福祉システム改修事業
- 子ども医療費助成事業
- 保育の職場環境改善事業
- 休日急患センター運営事業
- 休日急患センター棟設備更新事業
- 国民健康保険システム改修事業
- 介護保険システム改修事業
- 本町通り地下駐車場管理事業　ほか

※補正予算の概要については、市財政課のホームページを御覧ください。

条例

○福井市地域交流センターの設置及び管理に関する条例の制定について

福井市立図書館と連携し、市民の生涯学習及び交流の場を提供することにより、地域の社会教育の促進を図るため、福井市地域交流センターの設置及び管理に関する条例を制定するものです。

○福井市市税賦課徴収条例の一部改正について

全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律（令和5年法律第31号）等の公布に伴い、出産予定の被保険者に係る産前産後期間の保険税について免除措置を講じるとともに、所要の規定の整理を行うものです。

○福井市学校給食センター設置条例の一部改正について

福井市学校給食センターを新たに設置するとともに、福井市北部学校給食センター及び福井市南部学校給食センターを廃止するため、条例の一部を改正するものです。

○福井市体育施設条例の一部改正について

福井市フットボールセンターを供用開始するとともに、体育施設の利用料金等の見直しその他所要の規定の整備を行うものです。

人事案件

○教育委員会委員

令和5年12月17日をもって任期満了となる宮郷美千代氏を引き続き同委員に任命することに同意しました。

12月臨時会

条例

○福井市職員の給与に関する条例及び福井市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について

国家公務員及び福井県職員に対する給与改定の状況を考慮し、福井市職員の給料月額、期末手当等の額を改定するものです。

○福井市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について

国家公務員及び福井県職員に対する給与改定に関する勧告の状況等を考慮し、福井市常勤の特別職職員の期末手当の額を改定するものです。

市会案（議員提出議案）

○福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について

国家公務員及び福井県職員に対する給与改定に関する勧告の状況等を考慮し、福井市議会議員の期末手当の額を改定するものです。

委員会審査

決算特別委員会　10月2日　10月3日

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。（委員会終了順に掲載）

《一般管理費》

問 企業版ふるさと納税の寄附金収入が相当額あり、いくつかの事業がこれを財源として活用しているようだが、この寄附の大部分は東京事務所の職員による訪問活動の成果であるのか。

答 東京事務所の職員による本市ゆかりの個人や法人等への懸命な訪問活動によるところが大きいことはもちろんであるが、これに加え、令和4年12月からは、寄附企業と自治体とのマッチング支援を行う民間のサービスを活用したことにより、新たな寄附の獲得につながっている。このほか、企業のほうから直接寄附を申し込まれてきたという事例もあった。

《国民健康保険特別会計》

問 令和3年度は見込み以上に決算剰余金が生じたため、国民健康保険基金に積み立てたとのことだが、令和3年度及び令和4年度の決算剰余金はいくらであったのか。

答 令和3年度は10億円程度、令和4年度は7億3，500万円程度となっている。そのうち半分は基金に積み立て、残りの半分は翌年度に繰り越している。

問 多額の剰余金を発生させるよりも、国保税の引下げを行ったほうがよいと考えるが、いかがか。

答 国保税については例年1月頃に県から示される標準保険料率を参考に税率を設定している。本年度は、標準保険料率に合わせて設定した場合、税率の引上げが必要となったことから、令和4年度の決算剰余金のうち1億5，000万円程度を活用し、税率を据え置くこととした。

北陸新幹線開業効果最大化対策特別委員会

《北陸新幹線福井開業後の物産販売拠点について》

問 福井駅前電車通り北地区A街区市街地再開発ビルのフードホール「MINIE」の出店状況については、再開発組合が令和5年3月から公募を開始し、試食会などを経て順次出店者との予約契約を進めているとのことだが、出店の予約契約について、全ての区画を埋める責任はどこにあるのか。

答 この責任は再開発組合にある。数店舗は調整中だが、開業時には全店オープンの見通しであると聞いている。

問 アオッサが開業したとき、2階フロアがオープンできないということがあったが、二度と同じ轍を踏まないために何らかの担保を取るべきではないのか。

答 アオッサの件についてはオープンが新幹線金沢開業と同時期とならなかったことなど様々な環境要因があったものと考えるが、今回は事業者と連携を図りながら、MINIEをはじめ今後ますます変化する福井駅前のまちづくりを全体として捉え、しっかりと支援していきたいと考えている。また、再開発組合との定例的な会議の中で、進捗状況については常に報告を受けており、マリオットホテルとの同時開業は概ね大丈夫であると認識している。

※各委員会の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、各委員会の動画を御覧いただけます。

総務委員会

《フェニックス・プラザ及びフェニックス・プラザ自動車駐車場の指定管理者の指定について》

問 コロナの影響により、ここ3年間のフェニックス・プラザの大ホールや小ホールの稼働率は、非常に低かったのではないか。一方で、これまでに文化会館が閉館したことや市民福祉会館がフェニックス・プラザへ移転したことに加え、コロナが収束した現在は、稼働率も回復してきているのではないかと考える。ここ数年の稼働率の推移はどのようになっているのか。

答 フェニックス・プラザは、現在、市民福祉会館機能を統合した複合施設となっており、これにより稼働率が若干上昇傾向にある。統合した平成29年度で53％、30年度及び令和元年度は48％台と推移した。一方、令和2年度は、コロナの影響を受け30％台まで落ち込んだが、翌年度以降は、指定管理者である福井市ふれあい公社の営業努力などにより回復し、昨年度は59％台まで上昇したところである。

建設委員会

《福井市にぎわい交流施設の指定管理者の指定について》

問 土日の利用については、予約が取りづらく、行列をつくって申込みを行うこともあるのではないか。今後、さらに稼働率が高まると予想されるが、予約の取り方について改善することはないのか。

答 土日の利用は非常に多く、稼働率は6割から7割台であるが、今のところ予約が取りにくいという声が多いとの報告は受けていない。ただ、学校などのように毎年恒例で行う行事や何百人単位での利用といった大規模な行事の予約については、1年以上前からの申込みに対しても臨機応変に対応している。

問 最近、ハピテラスでは毎週のようにイベントが催され、大変な盛り上がりを見せている。一方、先日中央公園では「福井コーヒーフェスティバル」が開催されたが、こちらも大いに賑わっていた。このことから、ハピテラスだけではなく、JR福井駅から徒歩圏内の場所で様々なイベントが実施されれば、観光客が福井駅に降り立つ確率が格段に高まり、駅周辺での消費行動が活発化してさらに盛り上がると考えるが、市のほうからもそのような提案をしてはどうか。

答 令和6年春の新幹線開業を見据え、今回の指定管理者の募集に当たっては、これまでの県民や市民を対象としたイベントの実施だけではなく、観光客に対する福井の魅力発信にも積極的に取り組むことを選定の要件とした。これに対し、指定管理者候補であるまちづくり福井株式会社からは、観光交流センターや足羽川河川敷に整備予定のアクティビティセンターとの連携事業のほか、ワンパークフェスティバルなどと連携した音楽イベントや地元の飲食店と連携した食のイベントなど、様々な提案をいただいたところである。にぎわい交流施設を訪れた方が、まちなか全体を周遊していただけるよう、本市も共に取り組み、にぎわい創出に努めていきたい。

経済企業委員会

《福井市観光物産館の指定管理者の指定について》

問 令和6年度から10年度における年度ごとの来館者数の見込みでは、北陸新幹線開業直後の令和6年度が一番少なくなっているが、なぜなのか。

答 令和6年は、くるふ福井駅やA街区市街地再開発ビルなど、福井駅周辺の様々な店舗がオープンあるいはリニューアルすることから、一時的に来館者数が減少すると見込んでいる。

問 新幹線の開業により非常に多くの方が福井を訪れることが予想されることから、競争相手が増えることを考慮しても、この数は少なすぎるのではないかと考えるが、いかがか。

答 本市としては、多くの方に来館していただけるものと期待しており、今回選定された事業者も同様の考えである。来館者数の目標は高く持って取り組んでいきたい。

教育民生委員会

《福井市体育施設条例の一部改正について》

問 フットボールセンターはサッカーでの利用に限るのか。例えば、グラウンドゴルフや幼稚園等の運動会などでの利用は可能なのか。

答 当センターはサッカーに加え、ラグビーの練習用としても利用できるようになっている。また、福井市の体育施設では初めて人工芝を敷設した屋外施設であり、サッカーでの利用が少ない時間帯は、幼稚園や小学校の遠足、ヨガ教室など、多目的に利用してほしいと考えている。管理を委託する業者に対しても、多目的に利用できることをPRするよう指示している。

《福井市学校設置条例の一部改正について》

問 廃校となった後の殿下中学校の建物はどうなるのか。

答 殿下中学校は小学校との併設校であり、小学校は来年度も存続するため、小学校の部分はそのまま校舎として利用する。また、現在の殿下公民館が利便性や耐震性に問題があることから、中学校の部分は改装を行い、この場所に公民館を移転する予定である。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を問うため、11月13日から15日までの3日間、21人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、(　)内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

① 皆川　信正（一真会）
1 東村市長の政治姿勢について
2 姉妹友好都市との交流について
3 空き家の利活用策の進捗、課題について
4 映画、市内撮影への補助について

② 寺島　恭也（一真会）
1 アリーナの建設とスポーツ交流について

③ 田中　義乃（新政会）
1 東村市政16年の総括について

④ 髙田　稔浩（市民クラブ）
1 市内ホテルのバリアフリールームについて
2 障がい者団体等への活動支援について
3 重度障がい者等に対するタクシー利用助成について
4 ふくい桜マラソンを通した取組について

⑤ 奥島　光晴（新政会）
1 中学校部活動の地域移行について
2 恐竜モニュメントの破損を踏まえた道徳・道徳教育の必要性の一考察について

⑥ 津田　かおり（公明党）
1 中学校部活動の地域移行について
2 こども食堂等への支援の現状と今後の取組について
3 女性特有のがん（子宮頸がん、乳がん）対策について

⑦ 見谷　喜代三（一真会）
1 福井市の米政策について

⑧ 藤田　諭（新政会）
1 地域交通について
2 鳥獣害対策について

⑨ 村田　耕一（市民クラブ）
1 本市の公園のあり方について
2 本市の空き家、空き店舗対策について

⑩ 山田　文葉（日本共産党）
1 生活保護制度について
2 児童館について
3 パートナーシップ宣誓制度について
4 ガザ地区の平和のために日本がはたすべき役割について

⑪ 岩佐　武彦（無所属）
1 農業の諸問題について
2 アオハルでにぎわい創出について
3 活き活きとした魅力ある地域づくりについて
4 ふくい桜マラソン2024について

⑫ 酒井　良樹（市民クラブ）
1 ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンについて
2 道路空間の整備について

⑬ 漆﨑　與（一真会）
1 福井鉄道について

⑭ 今村　辰和（一真会）
1 本市での7月豪雨災害発生後の復旧状況について

⑮ 宮岡　勝也（無所属）
1 公園の地域住民の利用について
2 政治参加の教育について
3 パンデミック条約及びIHR（国際保健規則）の周知について

⑯ 堀川　秀樹（市民クラブ）
1 福井市中央卸売市場について
2 JA福井県経済連が事業主体として新たに整備する北陸新幹線開業後の物産販売拠点TRETAS（トレタス）について
3 福井駅前五商店街連合活性化協議会を中心とした商店街が北陸新幹線福井駅開業の時期に解散の危機に直面している問題について
4 中央公園に計画されている全天候型遊び場について

⑰ 浦上　逸人（一真会）
1 リサイクル率について
2 特定健康診査および特定保健指導実施率について
3 水道について
4 会計年度任用職員および外部委託について

⑱ 佐野　弘（一真会）
1 自転車に乗る子どもたちの安全・安心について
2 学校給食について
3 脱炭素への取組と水素利用について
4 農林水産業における衛星画像の利用について
5 地域交通の充実・利便性向上について

⑲ 鈴木　正樹（日本共産党）
1 今必要とされる経済対策について
2 学校施設の修繕や改修について
3 競輪事業の長期計画について

⑳ 下畑　健二（公明党）
1 福井市地域公共交通計画（素案）について
2 福井市デジタル田園都市構想総合戦略（素案）について
3 災害時の避難場所について

㉑ 近藤　實（無所属）
1 脱炭素（ゼロカーボンシティ）への取組
2 下水道使用料の20％値上げは必要なかった！
3 水道料金の20％値上げは必要なかった！
4 令和6年度下水道事業一般会計繰入金の予算要求
5 公文書の変造（刑法156条虚偽公文書作成等）について
6 同性パートナーシップ宣誓制度
7 除雪経費の補正予算計上又は専決処分について
8 東村市政16年の評価と市長退職金について
9 アリーナ構想への福井市の積極的関与について

一般質問要旨

東村新一市長の政治姿勢について

みながわ　のぶまさ
皆川 信正 議員
一真会

質問 全国に誇れる福井市づくり、全市民が笑顔で暮らせる福井市づくりの進捗をどのように評価されるか。市職員との信頼関係、人事面の評価はどうか。最後に令和6年度予算編成は骨格予算とすべきだがどうか。

回答 私が目指した全国に誇れる福井、誰もが笑顔で暮らせる希望と安心のふくいがどこまで実現できたのか、評価は後世の方、歴史に委ねたいと思うが、市長就任以降今日まで私なりに全身全霊を尽くして職務に邁進してきた。

職員の皆さんには、よく私の言葉を理解し、一人一人が自らの意識改革を図り、前例に縛られることなく知恵を絞って仕事をしていただいた。

令和6年度の予算編成については、当初予算案の提出までに新市長の下で検討や調整が可能なものは通常予算とし、さらに検討が必要な事業については補正予算での対応が考えられるが、最終的には新市長の判断によることとなる。

アリーナの建設について

てらしま　きょうや
寺島 恭也 議員
一真会

質問

本市の東公園を候補地として建設予定のアリーナは、民設民営ではあるが、防災避難機能が完備されると、本市からの支援や近隣住民の理解・協力が得られやすくなるのではと考えるが、所見を伺う。

回答

災害時における避難施設や防災機能としての活用については、アリーナの整備・運営に関する基本構想に示されている。また、現在、東公園は地震時の指定緊急避難場所となっており、地元とのアリーナ構想に関する意見交換会においても、避難施設としての活用や防災機能の確保について御意見をいただいている。

全国で災害が頻発する昨今の状況を踏まえると、アリーナにおける防災機能の確保は大変重要であると認識しており、地元の方の避難先としてだけでなく、福井駅に近い立地を生かした災害時の帰宅困難者の受入先としての役割なども含め、防災機能の確保について協議していきたい。

東村市政4期16年の思い

たなか　よしのり
田中 義乃 議員
新政会

質問

東村市長は、平成19年12月に第16代市長に就任され、4期16年の長きにわたり市政発展のために尽力されてきた。その長年の功績と功労に、心よりの敬意と感謝の意を表する次第である。

東村市長にとって、これまでの施策や決断の中で、一番つらかったことは。

回答

平成30年の大雪に伴う赤字決算により、本市は財政再建計画を策定した。収支均衡した財政構造を確立し、計画の最終年度である令和5年度に財政調整基金の残高を30億円以上とするという目標を新たに掲げ、健全な財政運営に努めることとした。

この目標を達成するため、やむなく不急な事業の中止や縮減、補助金の見直し、総人件費の縮減、投資的経費の抑制などを行ったが、市民の皆様や市職員に対し、負担を強いざるを得なかったことが、私の市政運営において一番つらい苦渋の決断であった。

タクシー料金の値上げに伴う地域間格差の拡大について

たかだ　としひろ
髙田 稔浩 議員
市民クラブ

質問

タクシー料金が、6年ぶりに約15%値上げされた。一方、福井市南東地区のフルデマンドタクシーの料金は値上げされず、高齢者や重度障害者など、移動に支援の必要な交通弱者の地域間格差が広がっている。市の所見を伺う。

回答

本市南東地区（麻生津、上文殊、文殊、六条）には、以前、路線バスが運行していたが、利用者数の大幅な減少に伴い、乗合タクシーの運行に切り替わった。しかし、利用者数が増加しなかったこともあり、令和3年8月にフルデマンドタクシーを導入した。

フルデマンドタクシーは、利用者にとって利便性の高い交通である一方、料金は乗合タクシーより若干高く設定されており、路線バスが廃止された交通空白地での代替手段の一つであるため、路線バスとの重複運行は、事業者の経費負担や運転手不足の面からも難しいと伺っている。

恐竜モニュメントの破損を踏まえた道徳教育の必要性の考察について

おくしま　みつはる
奥島 光晴 議員
新政会

質問

道徳は人の生涯において極めて大切なものと考えられる。道徳及び道徳教育の必要性をどのようにお考えか、学校での道徳教育の現状と今後の展望、あるいは思いを伺う。

回答

道徳の授業は、多様な価値観が存在する今の社会を生きていく子どもたちにとって、非常に重要なものと考えている。子どもたちは小・中学校でそれぞれ年間35時間をかけ、個人の自由と責任や感謝、生命の尊さなどを学んでいる。

「考え、議論する道徳」の実現を目標に、いろいろなテーマや取組を想定し、自分と他者の考えや想いを大切にしながら、互いを認め合い、共に学び合う学習を行っている。

道徳教育は授業だけでなく、教育活動全体を通じて行うものである。今後も道徳教育の充実に努めるとともに、家庭や地域と連携して子どもたちの道徳性を高めていきたい。

女性特有のがん対策について

つだ
津田 かおり 議員
公明党

質問

子宮頸がん、乳がん検診の受診率の更なる向上への本市の取組は。

高校1年生とキャッチアップ接種対象者の未接種者全員に対し、改めてHPVワクチンの情報と最終期限を伝える個別通知をすべきと考えるが、本市の対応は。

回答

子宮頸がん、乳がん検診の対象者全員に受診券を送付し、子宮頸がんは21歳、乳がんは41歳になる方に無料クーポンを送付している。また、土・日曜日にも集団健診を実施するほか、乳がん検診の未受診者に対し、毎年10月末に受診再勧奨の通知をしている。今後は、ナッジ理論を活用し、より効果的な受診勧奨を検討していくほか、Web予約を導入し予約の簡便化を図る。

高校1年生とキャッチアップ接種対象者の未接種者には、ワクチンの情報と最終期限を掲載した接種勧奨の通知を1月頃に送付する予定であり、来年度は6月頃に未接種者を対象に通知を送付する予定である。

※各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画を御覧いただけます。

福井市の米政策について

みたに　きよぞう
見谷 喜代三 議員
一真会

質問

近年の猛暑の原因と言われる地球温暖化が進む今、高温障害などによる米の品質や収量の低下は今後も頻発することが懸念される。高温障害への対策を含めた今後の本市の米政策について、どのような方向性で進めていくのか。

回答

まず、農業者に対しては、自然災害や価格低下、本人の病気等による収入減少など、幅広く補償する収入保険への加入を呼びかけていく。

また、高温障害に対する根本的な対策として、国では「優良な品種の開発等、補正予算において必要な予算を確保する」としており、国の動向を注視しながら必要な支援を検討していく。

本市の米政策としては、第2次福井市農業活性化プランに掲げた農地の集積集約や水田活用の促進、スマート農業の推進等を着実に進め、生産基盤と農業所得の向上を図るとともに、中山間地域や小規模農家にも目を向けながら、「持続的な農業の発展」を実現していく。

地域交通について

ふじた　さとし
藤田 諭 議員
新政会

質問

公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の一層の低下を招かないためにも、地域交通の安定的な維持を踏まえた「全域交通ネットワーク」づくりが必要となる。安定した地域交通の確保のため、ルートやダイヤ等の再編にどのように取り組んでいくのか。

回答

北陸新幹線開業後は、地域の日常生活や観光、ビジネスにも対応するため、利用者数や地域の状況に応じた持続可能なサービス内容とし、効率的な運行への見直しが必要となる。具体的には、重複路線など非効率的な路線や運行ダイヤの見直し、フルデマンド化等による効率的な運行に変更していきたいと考えている。

見直しの実施においては、人口減少やバスの運転手不足などを踏まえ、地域住民と交通事業者の双方にとって望ましい運行となるよう、地域の方をはじめとする様々な関係者と協議し、持続可能な移動手段となるよう努めていく。

本市の空き家対策について

むらた　こういち
村田 耕一 議員
市民クラブ

質問

民間活力を取り入れるなどして、空き家対策を迅速化することが重要と考えるが、本市の所見は。また、空き家になる前の相談体制を整備し対応することで、空き家の発生を抑制できるのではないかと考えるが、本市として今後どのように取り組むのか。

回答

現在、空き家の流通促進を図る空き家情報バンクへの物件登録や問合せ対応に、不動産事業者と連携して取り組んでいる。空き家対策には、所有者自らが考えることや、市の取組を市民に理解してもらうことが重要であるため、身近な問題として意識啓発を図り、空き家情報バンクへの取組を強化していく。

空き家に関する相談に対応するため、住宅政策課内に空き家等の総合相談窓口を設けている。また、不動産や法務の専門家などによる空き家無料相談会を開催している。今後も空き家所有者の課題解決につながるよう、相談機会の充実に向けて取り組んでいく。

児童館で働く人の処遇改善と小型除雪車の配備について

やまだ　ふみは
山田 文葉 議員
日本共産党

質問

児童館では優秀な人材が離職してしまうことが問題になっている。離職理由の第一は、賃金の低さ。館長、厚生員だけでなく支援員の賃上げも必要。

また、冬季間の除雪も職員の負担になっている。児童館ごとに小型除雪車を配備すべき。

回答

児童館の運営・管理は指定管理者にお願いしており、更新に合わせて賃金の見直しや、経験年数や役職に応じた各種手当の引上げなどの処遇改善を図っている。

除雪については、各児童館の裁量の下、必要に応じて除雪業者へ依頼するなど対応いただいていると聞いている。加えて、自治会や保護者など地域の方々の協力により、概ね対応できていると認識していることから、現状では小型除雪車の配備は考えていない。

活き活きとした魅力ある地域づくりについて

いわさ　たけひこ
岩佐 武彦 議員
無所属

質問

人口減少や新型コロナの影響により、地域活動が停滞し、住民同士のコミュニティーが失われてきている中、観光以上移住未満といわれる関係人口を拡大していくことが、元気のない地域にとっての特効薬になると考える。本市ではどのような事業に取り組んでいるのか。

回答

本市では、ワーケーション推進事業、二地域活動・二地域居住等促進事業などに取り組んでおり、これらの事業に関わった人の中には、実際に本市へ移住された方や市内で起業された方もいる。

関係人口を生み出すことは、地域外の多様な人々と地域住民が協働・連携することで地域活性化につながることから非常に重要なものと考えているため、各地域での関係人口拡大の取組支援など、今後も積極的に取り組んでいく。

さかい　よしき
酒井 良樹 議員
市民クラブ

道路空間の整備について

質問

道路において、センターラインや外側線などが消えている未整備区間が多数ある。路側帯は歩行者の安全確保に重要だが、市道における維持管理の現状と今後について伺う。

また、路側帯が無い道路における安全対策についてはどのように考えているのか。

回答

例年4月から、交通量の多い幹線道路や通学路を中心に、市職員が区画線の損耗状況の調査等を行い、現況の把握に努めている。その結果を踏まえ緊急性の高い箇所から優先的に復旧しているところであるが、区画線の未復旧箇所も多いことから、今後も道路管理者として区画線の適正な管理に努めていく。また、外側線の設置基準を満たさない道路の安全確保に関しては、例えば外側線もなく通行環境が十分に確保されていない道路において、警察や地元関係者等と協議しながら区画線の引き直しを行うなど、歩行者の通行環境の確保に努めている。

うるしさき　あたえ
漆﨑 與 議員
一真会

福井鉄道について

質問

福井鉄道は令和6年3月に運賃改定を行うと聞いているが、運賃はどの程度上がるのか。

また、運賃が上がると通学定期代も上がると考えられるが、これに対してはどう配慮するのか。

回答

福井鉄道では、平成7年からの27年間、消費税率の変更に伴う運賃改定以外は運賃を据え置いてきたが、最近の資材価格等の高騰などを受け、経営上の観点から運賃を改定することとなった。令和5年6月30日に普通旅客運賃の上限運賃を平均17・6％引き上げる内容の認可申請を国土交通省に行ったところであり、令和5年12月中には運賃が公表される予定であると伺っている。

また、通学定期の値上げについては、上限運賃の認可申請時においても、普通旅客運賃と比べ14・8％と抑えられており、実際の運賃決定の際にも、負担軽減が図られるよう配慮すると伺っている。

いまむら　しんかず
今村 辰和 議員
一真会

本市での7月豪雨災害発生後の復旧状況について

質問

令和5年7月13日の大雨により市内200か所で大きな被害が発生したが、そのうち約7割の130か所が美山地区での被害であった。これから冬になると降雪もあるため、早期の復旧を望むが、今後のスケジュールは。

回答

市道については、被害の大きかった法面崩壊3か所を除き順次復旧を進めている。また、河川や水路については、普通河川ヒルガ谷川の護岸損傷を除き復旧が完了している。市道の法面崩壊3か所とヒルガ谷川の復旧については、早期に工事を発注し、年度内の完成に向け取り組んでいく。

加えて、農道や水路、林道については、営農や森林施業に支障を来す被災箇所の応急復旧を実施しているところである。

来季の営農や森林施業に支障がないよう進めているが、降雪による工事の遅れも懸念されるため、地元との協議を密にし早期復旧に努める。

みやおか　かつや
宮岡 勝也 議員
無所属

政治参加の教育について

質問

現在実施している出前講座は、各校年1回、50分程度の講座で、どうしても投票に行ってもらうための話が中心となり、本来の主権者教育ができていないと考える。主権者教育について授業の時間に取り入れることはできないのか伺う。

回答

小・中学校では、主に社会科、特に中学校の公民の授業で主権者教育を実施しており、地方の政治の仕組を学習するだけでなく、住民の声を生かした政治を実現する具体的な方法を学んだり、身近な地域の課題を調査して自分たちにできることを考え、提案したりする活動を行っている。

その他にも、新聞記事を使い、世の中の出来事が国や地方の政治とつながっていることに気づかせたりするなど、主権者教育に関する様々な取組が行われている。

今後もこのような活動を通して、他者と連携・協働して主権者として社会に参画していく力を育てていく。

ほりかわ　ひでき
堀川 秀樹 議員
市民クラブ

中央公園に計画されている全天候型遊び場について

質問

中央公園に整備予定の屋外屋根付き遊び場が入札不調となった。この際、記録的猛暑や寒波といった近年の異常気象を考慮し、空調の効いた屋内仕様へ変更すべきではないか。また、空きテナントが目立つアオッサに整備し、にぎわいの創出を図ってはどうか。

回答

中央公園は、中心市街地ならではの利便性があり、不特定多数の利用が見込まれることから、まちなかのイベントに訪れた方が中央公園に足を延ばすなど、周辺施設との連携によるまちなかの回遊性向上が期待できる。

また、中央公園に日陰や遊具を増やしてほしいという声や、小学校、こども園の遠足利用が多いことから、中央公園における遊び場の整備効果が高いと考えている。そのため、現在3回目の入札に向けて準備を進めているところであり、計画どおり中央公園での整備を進めていきたい。

※各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画を御覧いただけます。

うらがみ　はやと
浦上 逸人 議員
一真会

リサイクル率について

質問

環境問題の解決のため、リサイクル率について今後どのような取組をするのか。また、古紙回収奨励金の今後の運用方針について伺う。

回答

本市では、資源物及びごみ処理基本計画において、『おとましい』を「行動」へ』を基本理念として、リサイクルの推進に取り組んでいる。今後も出前講座の実施やイベント等の場を活用した啓発などを通じて、市民や事業者に資源物の分別意識の浸透を図り、リサイクル率の向上に取り組んでいく。

古紙回収奨励金については、平成30年度まで回収量1kg当たり5円を交付していたが、財政再建計画により見直しを行い、令和元年度から1kg当たり4円に減額し運用している。古紙回収量が増え、リサイクル率が高まる取組は重要な施策であることから、奨励金の単価の見直しについては前向きに検討していきたい。

さの　ひろし
佐野 弘 議員
一真会

農林水産業における衛星画像の利用について

質問

猛暑や豪雨などが頻発する昨今、農地や森林の生育、被災状況、漁業における海水温などを効率よく把握するため、県民衛星「すいせん」などから取得する画像データの利用が有効と考える。福井の農林水産業における今後の衛星画像の利用について所見を伺う。

回答

県では、県民衛星データを活用し、無届伐採の調査や麦の収穫時期予測、米の食味の推定など、農林水産業における衛星データ利活用の研究に取り組んでいると聞いている。

本市においては、国の交付金等に係る農地の現地確認の際に、一部の対象作物について今年度から県民衛星の画像等を活用し、業務の省力化を図っている。また、県民衛星データ等を活用した山地災害被災箇所の特定について研究を進めているところである。

今後も引き続き、県や関係機関と連携を図りながら、農林水産業における衛星の活用に努めていく。

すずき　しょうじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党

競輪事業を将来どうするか検討を

質問

全国的な競輪事業の売上げはピーク時に比べ半減している。赤字になってから撤退した競輪場もある。福井市競輪場は老朽化しており、大規模改修となれば多額の経費もかかるため、今のうちから撤退の仕方を含めた長期計画の策定が必要ではないか。

回答

競輪事業の継続については、これまでにも議論されており、事業の収益から一般会計への繰出金1億円を維持できなくなった場合には、事業廃止の議論を進めなければならないと認識している。

一方、近年の一般会計への繰出金は、令和2年度に1億7，000万円、令和3年度に1億5，000万円、令和4年度に2億3，000万円という状況である。

今後も、インターネット投票による車券売上げが顕著なミッドナイト競輪や、モーニング競輪を開催するなど、様々な形態で収益の確保に努めていく。

しもばた　けんじ
下畑 健二 議員
公明党

奨学金の返還支援制度の導入について

質問

学生の地元就職を推進する施策として、奨学金の返済を支援する取組は有効である。学生のU・Iターン就職を促進し、多くの若者が地元に定着するためにも導入してほしいが、本市の見解を伺う。

回答

県の調査によると、県外大学等を卒業し県内企業にUターン就職した割合は、近年3割弱で推移しており、県内企業の新卒採用は厳しい状況となっている。

また、中小企業雇用促進相談員によると、訪問した多くの市内企業においては、業種を問わず人材確保に苦慮しているという結果が出ている。

本市としては、先に導入した市町の事例を参考にしながら調査研究し、若者のU・Iターン就職の促進及び地元企業の人材不足に対応するため、奨学金の返還支援制度の導入について検討していく。

こんどう　みのる
近藤 實 議員
無所属

東村市長退職金1期4年2，500万円、4期16年で1億円について

質問

ここ6年間、福井市は財政再建期間であった。予算を切り詰め、市民の皆様には様々な形で不便をかけてきたように思う。水道料金、下水道使用料が20％の値上げになって4年半が経過した。

東村市長に伺う。市長退職金の金額は妥当であるか。

回答

市長を含めた特別職の退職金は地方自治法の規定に基づき条例で規定している。

その支給額は、福井市特別職報酬等審議会の答申を受けて定めており、全国の中核市と比較しても平均的な額となっていることから適正なものと考えている。

12月定例会

議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案（●印の賛否状況は下部に掲載）
第107号議案	令和４年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	11月6日	認定	●
第108号議案	令和４年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	原案可決及び認定	●
第109号議案	令和４年度福井市簡易水道事業会計決算の認定について	〃	認定	
第110号議案	令和４年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	原案可決及び認定	●
第112号議案	令和５年度福井市一般会計補正予算	11月22日	原案可決	●
第113号議案	令和５年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	〃	〃	
第114号議案	令和５年度福井市介護保険特別会計補正予算	〃	〃	
第115号議案	令和５年度福井市競輪特別会計補正予算	〃	〃	
第116号議案	令和５年度福井市駐車場特別会計補正予算	〃	〃	
第117号議案	令和５年度福井市集落排水事業会計補正予算	〃	〃	
第118号議案	公共浄化槽事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	〃	〃	●
第119号議案	福井市地域交流センターの設置及び管理に関する条例の制定について	〃	〃	
第120号議案	福井市保健所事務手数料条例及び福井市旅館業の宿泊者の衛生に必要な措置に関する基準等を定める条例の一部改正について	〃	〃	
第121号議案	福井市市税賦課徴収条例の一部改正について	〃	〃	
第122号議案	福井市学校設置条例の一部改正について	〃	〃	
第123号議案	福井市学校給食センター設置条例の一部改正について	〃	〃	
第124号議案	福井市体育施設条例の一部改正について	〃	〃	
第125号議案	福井市にぎわい交流施設の指定管理者の指定について	〃	〃	
第126号議案	フェニックス・プラザ及びフェニックス・プラザ自動車駐車場の指定管理者の指定について	〃	〃	
第127号議案	福井市観光物産館の指定管理者の指定について	〃	〃	●
第128号議案	福井市の児童館の指定管理者の指定について	〃	〃	●
第129号議案	教育委員会委員の任命について	〃	同意	
第 36 号報告	専決処分の報告について（和解及び損害賠償額の決定について）	11月6日	受理	

請願・陳情の審議結果

請願・陳情番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案（●印の賛否状況は下部に掲載）
陳情第 4 号	給食時間の「黙食を求めない」ことと前向き個食を求めないことを福井市内の各小中学校の先生や保護者、子供たちに今一度周知徹底することを求める陳情書	11月22日	不採択	●

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成　反…反対
※原則、議長（八田一以）は採決に加わりません。

会派名／議員名／議案番号	審議結果	一真会													新政会					市民クラブ					公明党			日本共産党		無所属		
		見谷 喜代三	皆川 信正	青木 幹雄	今村 辰和	堀江 廣海	八田 一以	池上 優徳	寺島 恭也	榊原 光賀	葛野 早智代	浦上 逸人	漆崎 與	佐野 弘	野嶋 祐記	奥島 光晴	伊藤 洋一	藤田 諭	田中 義乃	堀川 秀樹	村田 耕一	玉村 正人	酒井 良樹	髙田 稔浩	下畑 健二	菅生 敬一	津田 かおり	鈴木 正樹	山田 文葉	近藤 實	岩佐 武彦	宮岡 勝也
第131号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第132号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第140号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第37号報告	承　認	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
市会案第1号	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛

12月臨時会

議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案（●印の賛否状況は下部に掲載）
第130号議案	福井市職員の給与に関する条例及び福井市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	12月26日	原案可決	
第131号議案	福井市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第132号議案	令和５年度福井市一般会計補正予算	〃	〃	●
第133号議案	令和５年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	〃	〃	
第134号議案	令和５年度福井市後期高齢者医療特別会計補正予算	〃	〃	
第135号議案	令和５年度福井市介護保険特別会計補正予算	〃	〃	
第136号議案	令和５年度福井市競輪特別会計補正予算	〃	〃	
第137号議案	令和５年度福井市宅地造成特別会計補正予算	〃	〃	
第138号議案	令和５年度福井市中央卸売市場特別会計補正予算	〃	〃	
第139号議案	令和５年度福井市地域生活排水特別会計補正予算	〃	〃	
第140号議案	令和５年度福井市水道事業会計補正予算	〃	〃	●
第141号議案	令和５年度福井市簡易水道事業会計補正予算	〃	〃	
第142号議案	令和５年度福井市下水道事業会計補正予算	〃	〃	
第143号議案	令和５年度福井市集落排水事業会計補正予算	〃	〃	
第144号議案	令和５年度福井市一般会計補正予算	〃	〃	
第37号報告	専決処分の承認を求めることについて（令和５年度福井市一般会計補正予算）	〃	承認	●
第38号報告	専決処分の報告について（和解及び損害賠償額の決定について）	〃	受理	
第39号報告	専決処分の報告について（和解及び損害賠償額の決定について）	〃	〃	
第40号報告	専決処分の報告について（工事請負契約の変更について）	〃	〃	
市会案第1号	福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	〃	原案可決	●

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成　反…反対
※原則、議長（八田一以）は採決に加わりません。

会派名／議員名／議案番号	審議結果	一真会													新政会					市民クラブ					公明党			日本共産党		無所属		
		見谷 喜代三	皆川 信正	青木 幹雄	今村 辰和	堀江 廣海	八田 一以	池上 優徳	寺島 恭也	榊原 光賀	葛野 早智代	浦上 逸人	漆崎 與	佐野 弘	野嶋 祐記	奥島 光晴	伊藤 洋一	藤田 諭	田中 義乃	堀川 秀樹	村田 耕一	玉村 正人	酒井 良樹	髙田 稔浩	下畑 健二	菅生 敬一	津田 かおり	鈴木 正樹	山田 文葉	近藤 實	岩佐 武彦	宮岡 勝也
第107号議案	認　定	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	賛	賛
第108号議案	原案可決及び認定	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第110号議案	原案可決及び認定	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第112号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第118号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第127号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
第128号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛
陳情第 4 号	不 採 択	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	反

議員の辞職

加藤貞信議員から令和5年12月11日に辞職願が提出され、同日付けで議長が許可しました。

二次元コードをスマートフォンやタブレット端末から読み取ると、本会議の模様を御覧いただけます。

議長の動静（令和５年10月～12月）

10月６日	全国競輪主催地議会議長会 役員会（東京都）
17日	福井県市議会議長会 中央要望活動（東京都）
19日	北信越市議会議長会 理事会、評議員会（富山県）
20日	福井県市町議会議員合同研修会
23日	中核市議会議長会 総会（東京都）
27日	福井県市町総合事務組合議会 定例会 福井県自治会館組合議会 定例会
11月１日	全国競輪主催地議会議長会 役員会、臨時総会（青森県）
９日	全国市議会議長会 理事会・評議員会合同会議（東京都）
21日	福井県後期高齢者医療広域連合議会 議員全員協議会、定例会
30日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議員全員協議会、定例会（あわら市）

定例会外の議会日程（令和５年10月～12月）

10月２日	決算特別委員会
３日	決算特別委員会
５日	議会運営委員会
13日	北陸新幹線開業効果最大化対策特別委員会
30日	議員全員協議会
12月19日	議会運営委員会

12月定例会

11月６日	本会議
７日	議会運営委員会
13日	本会議（一般質問）
14日	本会議（一般質問）
15日	本会議（一般質問）
16日	総務委員会、建設委員会
17日	教育民生委員会、経済企業委員会
20日	議会運営委員会
22日	議員全員協議会、本会議

12月臨時会

12月26日	議会運営委員会、本会議

傍聴してみませんか

本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。各会議の傍聴を希望される方は、下記を参考にお越しください。

傍聴できる会議	受付場所	受付時間	定員
本会議	市役所本館８階 議場入り口	開会30分前から （先着順）	97名 （うち車椅子6名）
常任委員会 （総務、建設、教育民生、経済企業）	市役所本館８階 各委員会室前		若干名
議会運営委員会			
北陸新幹線開業効果最大化対策特別委員会			
議員全員協議会 予算特別委員会	市役所本館８階 全員協議会室前		

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをお勧めします。
※詳細については、下記のホームページを御確認いただくか、電話でお問い合わせください。

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、年４回（３・６・９・12月）開催される定例会で審議されます。基本的にいつでも提出できますが、提出時期等詳細については、ホームページを御確認の上、電話でお問い合わせください。

お問い合わせ
議会事務局 議事調査課
TEL.0776-20-5510

編集後記

「令和６年 能登半島地震」により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災されました皆様に心からお見舞いを申し上げます。

本市でも震度５弱の揺れがございました。災害はいつ・どこで発生するか分かりません。避難時の心構えや備えは万全か、私もあらためて確認したいと思います。

さて、今号で令和５年度４号目となる市議会だよりです。年間を通して議会の様子をお伝えしていますが、議会の傍聴にもお越しください。ぜひライブで議論をご覧いただき、議会や市政への理解を深めていただきたいと思います。（編集委員 伊藤、田中）

次回は 3月定例会です

- 定例会の日程はホームページに掲載します。
- 本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送します。
- 本会議、常任委員会等の模様は、インターネットで録画配信します。

市議会ホームページ

本紙に関するお問い合わせ
議会事務局 庶務課
TEL.0776-20-5506
FAX.0776-20-5744

WEBでのお問い合わせフォーム

VEGETABLE OIL INK ベジタブルインクを使用しています。